

# 第5章

## 投資計画と財政収支の見通し

- 5.1 投資計画……50
- 5.2 収益的収支の見通し……51
- 5.3 資本的収支の見通し……52
  - 5.4 債務の見通し……53
- 5.5 料金・費用の見通し……54



# 第5章 投資計画と財政収支の見通し

## 5.1 投資計画

投資計画は次表のとおりです。

表 5-1 投資計画のスケジュール

分類	項目	計画期間										該当頁
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
拡張	おおたかの森配水池増設	●	●	●	●							39
	西平井水処理施設建設	●				●		●				37
TX関連	TX沿線管路整備	●	●	●	●	●	●	●	●	●		-
管路	重要本管更新				●	●						43、44
	重要支管更新	●	●			●	●					43、44
	一般本管更新			●			●	●				43、44
	一般支管更新	●	●	●	●			●				43、44
	導水管更新					●	●	●	●	●	●	-
	新設計画管			●	●			●	●	●	●	40
	改良	おおたかの森設備更新			●	●	●		●	●		●
	江戸川台設備更新		●					●				42
浄水場	西平井設備更新					●	●	●	●		●	42
	西平井解体工事						●					-
	東部廃止									●	●	46
水源	井戸更生	●	●	●	●	●					●	38
維持	メンテ・設備オーバーホール			●			●	●	●			-

※投資には事務費を含む

## 5.2 収益的収支の見通し

収益的収入は、主に水道料金等から得られる給水収益と、新規の顧客に負担していただく給水申込納付金からなっています。

計画期間の収益的収入は、人口増加の伸びが収まってくるにつれて経年的に減少傾向となります。

収益的支出については、経年的には大きく変動しません。

その結果、純利益（収益的収入－収益的支出）も減少傾向となる見込みですが、計画最終年度である令和12（2030）年度でも一定額の純利益が確保される見通しです。

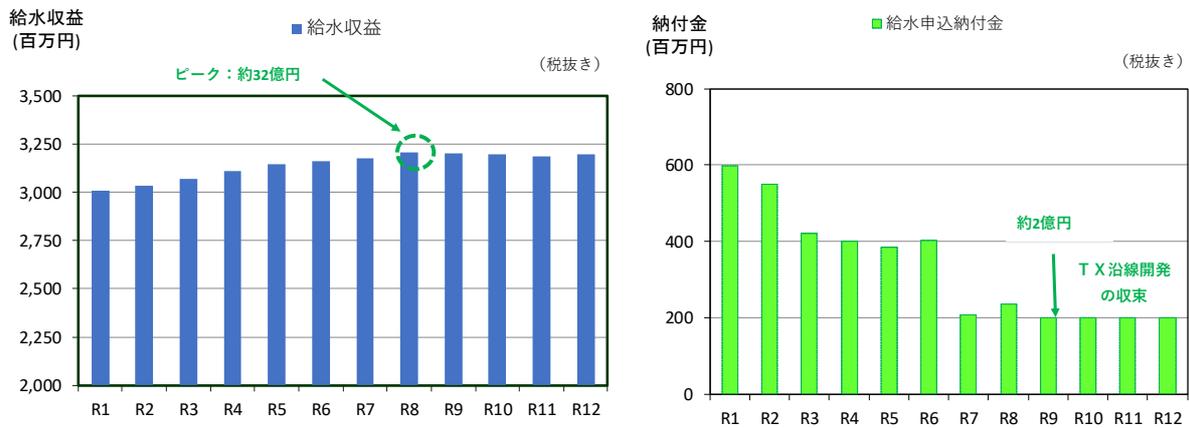
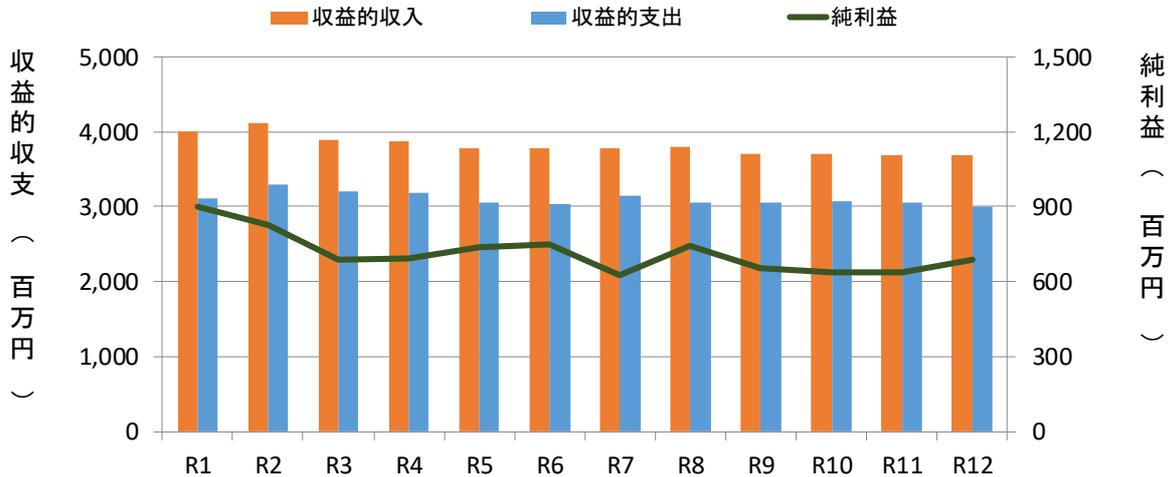


図 5-1 各種収入状況の推移



流山市水道事業経営戦略（平成31年4月改定版）より

図 5-2 収益的収支の推移

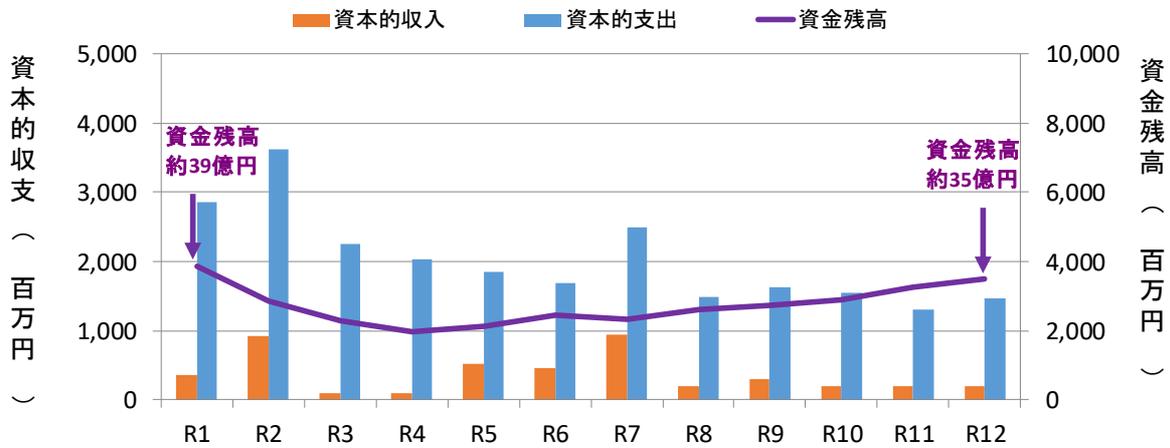
### 5.3 資本的収支の見通し

資本的収入は、企業債の発行の程度により各年度でばらつきがあります。

資本的支出では、令和3(2021)~4(2022)年度の2年間で一般会計への納付金があるため多くなり、その後についてはおおたかの森浄水場の配水池新設や中央監視システムの更

新があるなど、各年度に実施する事業により増減があります。

その結果、資金残高は計画期間当初から減少傾向となりますが、計画最終年度である令和12(2030)年度でも、一定額(約35億円程度)の資金残高が確保される見通しです。



流山市水道事業経営戦略(平成31年4月改定版)より

図 5-3 資本的収支の推移



最優秀賞

令和元年度

中学校の部

南部中学校 1年

井坂 香葡

## 5.4 債務の見通し

これまで、企業債元金償還額や企業債残高は経年的に減少してきましたが、計画的な工事実施と経営の健全性を維持するためには、適切な額の企業債を発行する必要があります。

今後、令和5（2023）～6（2024）年度の

おおたかの森浄水場配水池新設や令和7（2025）年度のおおたかの森浄水場中央監視システム更新において、大きな額の企業債の発行を見込んでいるため、一時的に企業債元金償還額や企業債残高が増えることも想定されます。

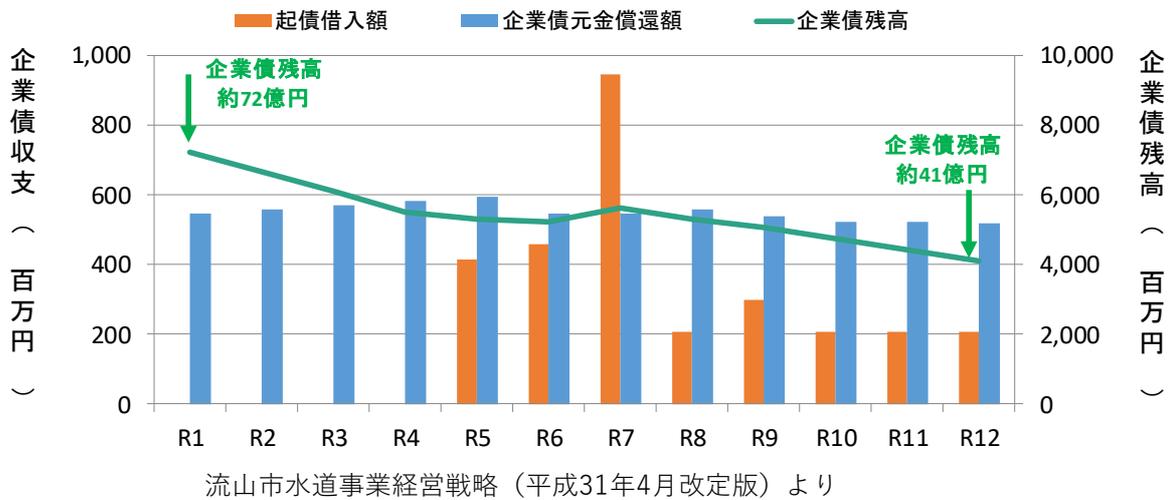
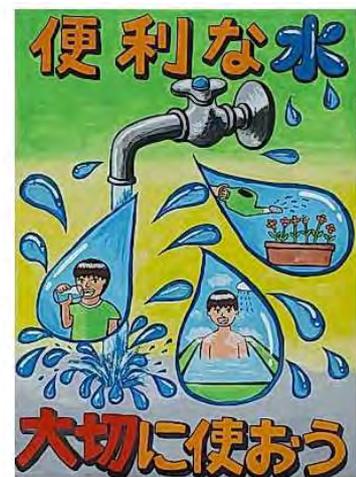


図 5-4 企業債関連指標の推移



令和元年度  
特別賞  
中学校の部

南部中学校  
浮貝 柗真  
1

## 5.5 料金・費用の見通し

給水原価については、長期前受金戻入の減少と減価償却費<sup>\*</sup>の増加により、ある程度経年的に上昇します。

現状は水道料金収入で水道事業経営は健全に保たれ、料金回収率（供給単価÷給水原価）でも100%以上を維持することができる見込

みですが、今後の社会情勢等を注視する必要があります。

なお、流山市の給水量の約8割を占める北千葉広域水道企業団の第15次経営戦略では、令和2（2020）～5（2023）年度の4年間は受水費は据え置かれます。

【減価償却費】固定資産を耐用年数に従って定期的に費用として配分する勘定科目

